

安全に

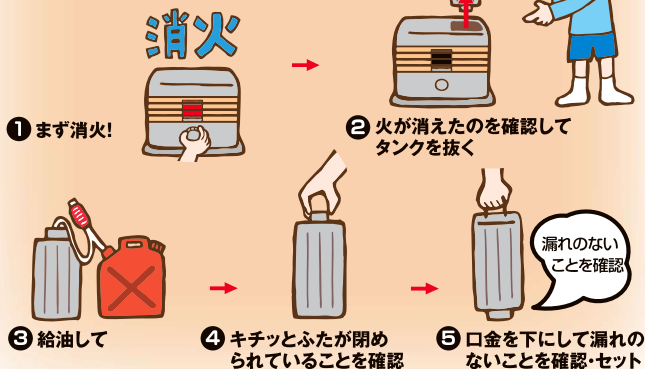
# 石油暖房機を正しく使う 8つのポイント

point!

1

まず消火! 給油後はタンクの灯油漏れがないか確認した上でセットしてください

- 暖房機の火が消えたことを確認してから、給油をしてください。消火せずに給油すると火災のおそれがあります。
- 給油後、カートリッジタンクの口金は確実に締め、灯油漏れがないかを確認しましょう。

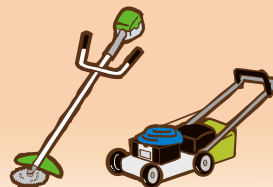


point!

5

火災の原因になりますので農機具などの燃料用のガソリン・混合油は絶対に使用しないでください

ガソリン・混合油



危険



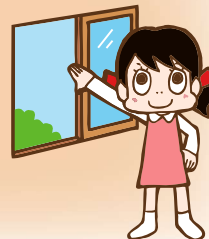
ガソリン厳禁  
使用燃料: 灯油

point!

6

1時間に1~2回(1~2分)換気を行ってください

- 換気が不十分だと、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。



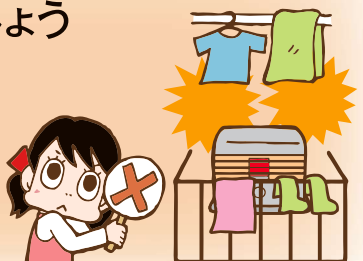
換気するときには、換気扇を使用したり、2カ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。

point!

2

衣類などの乾燥はやめましょう

- 石油ストーブの上に衣類などを干して乾燥させないでください。万一衣類が落ちた場合、火災の原因になるおそれがあります。

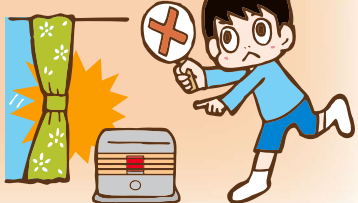


point!

3

カーテンやふとん、紙類など燃えやすい物をそばに置かないでください

- 燃えやすいものの近くで使うのはやめましょう。
- 石油ストーブの近くや器具内にマッチやライターを置くのはやめましょう。

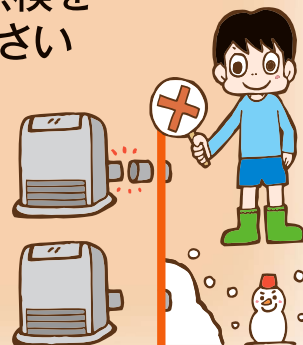


point!

7

FF式石油暖房機や半密閉式石油暖房機は定期的に点検を行ってください

- 暖房機器には寿命がありますので長期間使用されている機器は点検してください。
- 本体と給排気筒が正しく設置されていないと運転中に排気が室内に漏れて危険です。
- 給排気筒トップのまわりが雪などで塞がれている場合は取りのぞいてください。



point!

4

スプレー缶を暖房機の上や温風のあたる場所に置かないでください

- 熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



point!

8

不良灯油は使わないでください

- 変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。



ご注意

長期間保管した灯油は変質している可能性があります

- 昨シーズンから持ち越したもの
- 日光のあたる場所で長期保管したもの

※ 乳白色のポリタンクはご使用にならないでください。